

1. 平成22年度に機構が実施した選択的評価事項に係る評価について

1 評価の目的

独立行政法人大学評価・学位授与機構（以下「機構」という。）の実施する認証評価は、大学の正規課程における教育活動を中心として大学の教育研究活動等の総合的な状況を評価するものですが、大学にとって研究活動は、教育活動とともに主要な活動の一つであり、さらに大学は、社会の一員として、地域社会、産業界と連携・交流を図るなど、教育、研究の両面にわたって知的資産を社会に還元することが求められており、実際にそのような活動が広く行われています。

そこで機構では、「評価結果を各大学にフィードバックすることにより、各大学の教育研究活動等の改善に役立てること」、「大学の教育研究活動等の状況を明らかにし、それを社会に示すことにより、広く国民の理解と支持が得られるよう支援・促進していくこと」という評価の目的に鑑み、各大学の個性の伸長に資するよう、大学評価基準とは異なる側面から大学の活動を評価するために、「研究活動の状況」（選択的評価事項A）と「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」（選択的評価事項B）の二つの選択的評価事項を設定し、大学の希望に基づいて、これらの事項に関わる活動等について評価を実施しました。

2 評価の実施体制

評価を実施するに当たっては、国・公・私立大学の関係者及び社会、経済、文化等各方面の有識者からなる大学機関別認証評価委員会（以下「評価委員会」という。）を設置し、その下に、具体的な評価を実施するため、対象大学の状況に応じた評価部会を編成し、評価を実施しました。

評価部会には、各大学の教育分野やその状況が多様であること等を勘案し、対象大学の学部等の状況に応じた各分野の専門家及び有識者を評価担当者として配置しました。

3 評価プロセスの概要

※ 評価は、おおむね以下のようなプロセスにより実施しました。

（1）大学における自己評価

各大学は、「自己評価実施要項」に従って、自己評価を実施し、自己評価書を作成しました。

（2）機構における評価

① 選択的評価事項ごとに、自己評価の状況を踏まえ、その評価事項に関わる各大学が有する目的の達成状況等について評価を実施しました。

なお、選択的評価事項は、いくつかの内容に分けて規定されており、これらを踏まえ基本的な観点が設定されていますが、目的の達成状況等については、その個々の内容ごとに行うのではなく、「基本的な観点」の分析状況を総合した上で、選択的評価事項ごとに行いました。

② 取組が優れていると判断される場合や、改善の必要が認められる場合等には、その旨の指摘も行いました。

③ 評価結果については、「目的の達成状況が非常に優れている」、「目的の達成状況が良好である」、「目的の達成状況がおおむね良好である」、「目的の達成状況が不十分である」の4段階で記述し、公表しました。

4 評価方法

評価は、書面調査及び訪問調査により実施しました。書面調査は、「評価実施手引書」に基づき、各大学が作成した自己評価書（大学の自己評価で根拠として提出された資料・データ等を含む。）の分析、及び機構が独自に調査・収集した資料・データ等に基づいて実施しました。訪問調査は、「訪問調査実施要項」に基づき、書面調査では確認できなかった事項等を中心に調査を実施しました。

5 評価のスケジュール

- (1) 機構は、平成21年6月に、国・公・私立大学の関係者に対し、評価の仕組み、方法等について説明会を実施するとともに、自己評価担当者等に対し、自己評価書の記載等について説明を行うなどの研修を実施しました。
- (2) 機構は、平成21年7月から9月にかけて申請を受け付け、最終的に以下の13大学の評価を実施することとなりました。
 - 公立大学（11大学）
首都大学東京（A・B）、新潟県立看護大学（B）、静岡文化芸術大学（B）、愛知県立芸術大学（B）、名古屋市立大学（A・B）、滋賀県立大学（A・B）、京都府立医科大学（A）、九州歯科大学（A・B）、福岡県立大学（A・B）、福岡女子大学（B）大分県立看護科学大学（A・B）
 - 私立大学（2大学）
大阪女学院大学（B）、放送大学（B）
- (3) 機構は、平成21年12月に、対象大学の自己評価担当者等に対し、自己評価書の記載等について説明を行うなどの研修を実施しました。
- (4) 機構は、平成22年6月に、評価担当者が共通理解の下で公正、適切かつ円滑にその職務が遂行できるよう、評価の目的、内容及び方法等について評価担当者に対する研修を実施しました。
- (5) 機構は、平成22年6月末に、対象大学から自己評価書の提出を受けました。

※ 自己評価書提出後の対象大学の評価は、次のとおり実施しました。

7月	書面調査の実施
8月～9月	評価部会の開催（書面調査による分析結果の整理、訪問調査での確認事項及び訪問調査での役割分担の決定） 運営小委員会の開催（各評価部会間の横断的事項の調整）
10月～12月	訪問調査の実施（書面調査では確認できなかった事項等を中心に対象大学の状況を調査）
12月～23年1月	運営小委員会、評価部会の開催（評価結果（原案）の作成）

- (6) 機構は、これらの調査結果を踏まえ、平成 23 年 1 月に評価委員会で評価結果（案）を決定しました。
- (7) 機構は、評価結果（案）に対する意見の申立ての機会を設け、平成 23 年 3 月の評価委員会での審議を経て最終的な評価結果を確定しました。

6 評価結果

平成 22 年度に選択的評価事項に係る評価を実施した大学の評価結果は、次のとおりとなりました。

- 選択的評価事項A
 - ・ 目的の達成状況が良好である：7 大学
- 選択的評価事項B
 - ・ 目的の達成状況が非常に優れている：1 大学
 - ・ 目的の達成状況が良好である：10 大学
 - ・ 目的の達成状況がおおむね良好である：1 大学

7 大学機関別認証評価委員会委員及び専門委員（平成23年3月現在）

(1) 大学機関別認証評価委員会

赤岩英夫	元 群馬大学長
鮎川恭三	元 愛媛大学長
荒川正昭	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター長
飯野正子	津田塾大学長
稲垣卓	前 大阪教育大学長
尾池和夫	国際高等研究所理事・所長
大塚雄作	京都大学教授
荻上紘一	大学評価・学位授与機構教授
梶谷誠	電気通信大学長
金川克子	神戸市看護大学長
北原保雄	元 筑波大学長
郷通子	情報システム研究機構理事
河野通方	大学評価・学位授与機構評価研究部長
児玉隆夫	帝塚山学院学院長
小林俊一	秋田県立大学長
小間篤	科学技術振興機構研究主監
齋藤八重子	元 東京都立九段高等学校長
○佐藤東洋士	桜美林大学長
鈴木昭憲	前 秋田県立大学長
鈴木賢次郎	大学評価・学位授与機構教授
鈴木典比古	国際基督教大学長
永井多恵子	せたがや文化財団副理事長
野上智行	国立大学協会専務理事
ハス ユーゲン・マルクス	南山学園理事長
福田康一郎	医療系大学間共用試験実施評価機構副理事長
◎吉川弘之	科学技術振興機構研究開発戦略センター長

※ ◎は委員長、○は副委員長

(2) 大学機関別認証評価委員会運営小委員会

赤 岩 英 夫	元 群馬大学長
鮎 川 恭 三	元 愛媛大学長
◎荻 上 紘 一	大学評価・学位授与機構教授
北 原 保 雄	元 筑波大学長
児 玉 隆 夫	帝塚山学院学院長
小 間 篤	科学技術振興機構研究主監
鈴 木 昭 憲	前 秋田県立大学長
鈴 木 賢次郎	大学評価・学位授与機構教授
福 田 康一郎	医療系大学間共用試験実施評価機構副理事長

※ ◎は主査

(3) 大学機関別認証評価委員会評価部会

(第1部会)

◎赤 岩 英 夫	元 群馬大学長
○荒 川 正 昭	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター長
荻 上 紘 一	大学評価・学位授与機構教授
小 野 耕 二	名古屋大学教授
功 刀 滋	京都工芸繊維大学教授
近 藤 倫 明	北九州市立大学理事・副学長
鈴 木 賢次郎	大学評価・学位授与機構教授
土 屋 俊	千葉大学教授
貫 和 敏 博	東北大学教授
○野 上 智 行	国立大学協会専務理事
前 田 早 苗	千葉大学教授
○南 努	大阪府立産業技術総合研究所長

※ ◎は部会長、○は副部会長

(第2部会)

萩上 紘一	大学評価・学位授与機構教授
○金川 克子	神戸市看護大学長
木部 暢子	人間文化研究機構国立国語研究所教授
◎児玉 隆夫	帝塚山学院学院長
○小林 俊一	秋田県立大学長
鈴木 賢次郎	大学評価・学位授与機構教授
土屋 俊	千葉大学教授
飛松 好子	国立障害者リハビリテーションセンター病院第一診療部長
中野 常男	神戸大学教授
野口 美和子	沖縄県立看護大学長
別所 遊子	神奈川県立保健福祉大学教授
○前原 澄子	京都橘大学看護学部長
○森 正夫	公立大学協会相談役

※ ◎は部会長、○は副部会長

(第3部会)

○今井 浩三	東京大学医科学研究所附属病院長
恵比須 繁之	大阪大学教授
萩上 紘一	大学評価・学位授与機構教授
○栗原 英見	広島大学教授
鈴木 賢次郎	大学評価・学位授与機構教授
土屋 俊	千葉大学教授
野嶋 佐由美	高知女子大学看護学部長
◎福田 康一郎	医療系大学間共用試験実施評価機構副理事長

※ ◎は部会長、○は副部会長

(第4部会)

◎鮎川恭三	元 愛媛大学長
岩田州夫	公立ほこだて未来大学副理事長
荻上紘一	大学評価・学位授与機構教授
近藤譲	お茶の水女子大学副学長
潮江宏三	京都市立芸術大学教授
庄野進	国立音楽大学長
鈴木賢次郎	大学評価・学位授与機構教授
○鈴木典比古	国際基督教大学長
土屋俊	千葉大学教授
西村立子	沖縄県立芸術大学教授
森田寛	北海道教育大学教授
○矢田俊文	北九州市立大学長

※ ◎は部会長、○は副部会長

(第6部会)

小川宣子	中部大学教授
荻上紘一	大学評価・学位授与機構教授
○加藤祐三	都留文科大学長
◎北原保雄	元 筑波大学長
○佐藤東洋士	桜美林大学長
鈴木賢次郎	大学評価・学位授与機構教授
土屋俊	千葉大学教授
山内ひさ子	長崎県立大学教授

※ ◎は部会長、○は副部会長

(第7部会)

○稲垣卓	前 大阪教育大学長
○尾池和夫	国際高等研究所理事・所長
萩上紘一	大学評価・学位授与機構教授
◎小間篤	科学技術振興機構研究主監
鈴木賢次郎	大学評価・学位授与機構教授
土屋俊	千葉大学教授
利島保	広島大学名誉教授
中井滋	宮城教育大学教授
○永田眞三郎	関西大学教授

※ ◎は部会長、○は副部会長

※ 上記評価部会の委員のほか、選択的評価事項Aにおいて書面調査を担当した委員

青木 弘行	千葉大学教授
青木 玲子	一橋大学教授
赤井 益久	國學院大學理事・副学長
赤峰 昭文	九州大学教授
新井 達郎	筑波大学教授
安藤 清志	東洋大学教授
石川 弘道	高崎経済大学副学長
伊藤 邦武	京都大学教授
伊藤 公一	千葉大学教授
井口 靖	三重大学教授
猪熊 茂子	日本赤十字社医療センターリウマチセンター長
上田 和夫	東京大学教授
太田 敬子	北海道大学教授
大塚 讓	お茶の水女子大学教授
大西 武雄	奈良県立医科大学教授
大西 有三	京都大学理事・副学長
大橋 ゆかり	茨城県立医療大学教授
大森 博雄	東京大学名誉教授
岡田 清	東京工業大学応用セラミックス研究所長
岡田 伸夫	大阪大学教授
沖 陽子	岡山大学教授
荻野 綱男	日本大学教授
長村 義之	国際医療福祉大学病理診断センター長
柿崎 洋一	東洋大学常務理事
風間 晴子	国際基督教大学教授
片田 範子	兵庫県立大学看護学部長
金子 双男	新潟大学自然科学系長
川口 陽子	東京医科歯科大学教授
川村 和夫	高知大学教授
岸尾 光二	東京大学教授
木村 彰方	東京医科歯科大学副学長
久野 覚	名古屋大学教授
栗田 博之	東京外国語大学副学長
栗原 隆	新潟大学教授
小槻 日吉三	高知大学理事・副学長
後藤 澄江	日本福祉大学教授
小林 裕和	静岡県立大学大学院生活健康科学研究科長
小林 良二	東洋大学教授
近藤 丘	東北大学教授

齋藤義夫	東京工業大学教授
酒井貴志	岡山大学教授
阪野智一	神戸大学大学院国際文化学研究科長
薩摩順吉	青山学院大学教授
佐藤信	東京大学教授
佐藤勝則	東北大学教授
佐野寛	岡山大学法学部長
式守晴子	静岡県立大学大学院看護学研究科長
新開明二	九州大学教授
杉山公造	北陸先端科学技術大学院大学副学長
鈴木真二	東京大学教授
曾田三郎	広島大学教授
曾根三郎	徳島大学教授
高木彰彦	九州大学大学院人文科学研究院長
高橋香代	岡山大学教授
高山倫明	九州大学教授
武川正吾	東京大学教授
田瀬則雄	筑波大学教授
龍岡文夫	東京理科大学教授
田林明	筑波大学教授
玉井金五	大阪市立大学教授
戸田保幸	大阪大学教授
富岡清	同志社女子大学教授
豊田利久	広島修道大学教授
中西秀	九州大学教授
永山正男	鳥取大学教授
仁川純一	九州工業大学情報工学部長
西澤宗英	青山学院常務理事
西平賀昭	筑波大学教授
仁平道明	和洋女子大学教授
橋本良明	高知大学教授
蓮見孝	筑波大学教授
花木啓祐	東京大学教授
濱口哲	新潟大学副学長
林義孝	医療法人瑞穂会法人顧問
原純輔	放送大学宮城学習センター所長
廣田薫	東京工業大学教授
藤本豊士	名古屋大学教授
古家信平	筑波大学教授
古山正雄	京都工芸繊維大学理事・副学長

本阿弥 眞 治	東京理科大学教授
牧 島 亮 男	北陸先端科学技術大学院大学特別学長顧問
松 浦 義 則	福井大学教授
松 本 堯 生	広島大学名誉教授
宮 下 徳 治	東北大学教授
村 嶋 幸 代	東京大学教授
望 田 研 吾	九州大学名誉教授
森 正 樹	大阪大学教授
森 田 耕 次	東京電機大学特別専任教授
森 本 幸 裕	京都大学教授
安 川 哲 夫	筑波大学教授
山 添 康	東北大学教授
山 田 明	名古屋市立大学教授
山 田 聖 志	豊橋技術科学大学教授
山 辺 規 子	奈良女子大学教授
山 本 茂	お茶の水女子大学教授
吉 田 俊 和	名古屋大学教授
吉 村 豊 雄	熊本大学教授
吉 元 洋 一	鹿児島大学教授